

平成 30年 6月 8日

(公社)埼玉県介護老人保健施設協会  
会長 小川郁男 様施設名 ファインハイム  
氏名 木森寛

## 研 修 会 報 告 書

研修会名	平成30年度 第1回リハビリ関係職員研修会				
日 時	平成30年6月3日(日)10時～16時30分				
会 場	埼玉会館 7B				
講 師	中野 佳子 氏(理学療法士) 永原 俊昭 氏(理学療法士)				
参加人数	48名(講師・研修委員含む)				
研修委員 (氏名・施設名)	本 宏明(プライムケア川越)・永原 俊昭(トワーム熊谷)・高橋 昌(シルバーケア敬) 小野田恵(栗橋ナーシングホーム翔裕園)・神山 知子(遊) ・関口 諒(やまざくら)・木森 寛(ファインハイム)				
研修会のテーマ	『リハビリ関係職員初任者研修会』 講義①「生活リハビリについて」 講義②「老健に求められるもの ～老健職員としての役割～」				
研修会の評価	アンケート回収枚数	41 枚	3. グループワーク	4.3 5	
	1. 研修内容と目的の一致	4.4 5	4. 研修会の進め方	4.1 5	
	2. 講義に対する評価	①	4 / 5	～総合評価点～	21 25
		②	4 / 5		
③		/ 5			
④		/ 5			
総 評	(研修会開催後の反省会での内容や研修委員としての感想等を記述)				
	老健勤務が3年以内の参加者が7割、職歴としても3年以内の方が5割となりました。研修会全体を通して質疑応答、意見交換が活発に行われる様子が見られており、アンケート結果からも参加者の満足する答えの得られた研修会だったと考えます。				
	また昨年度と同様に県内老健で勤務する療法士が執筆した原稿を資料として使用しました参加者が読み返す事で日々のリハビリの参考にできる内容となっているため、今後も活用していきたいと考えます。				
	講義に関して、講義のボリュームやポイントを絞った講義内容の調整を行っていますが、一日を通して座学で行う際の時間調整や講義内容に関して今後も内容を洗練していければと考えます。				
	グループワークでは、多職種と意見交換ができるよう配慮しました。終了後のアンケートから「他職種の方と様々な意見交換ができたので有意義な時間だった」や「介護職の思いも聞けたので、リハ職として歩み寄り方を気を付けようと思う。」と意見があり、研修委員側の意図した仕組みができたと思います。また、グループワークの時間は1時間設けたが「時間が足りない」「もっと話す時間が欲しい」という意見も見られました。講義や研修会のボリューム等、様々な課題はあるが今後の研修会活動に意見を取り入れていきたいです。				
	今年度、第1回目の本研修会は理事並びに事務局様、研修委員の皆様のご協力により無事に終了することができました。 心より感謝申し上げます。今後もより良い研修会を作っていけるよう努力してまいります。ありがとうございました。				

\*アンケート結果の詳細については、別紙添付資料「研修会アンケートのまとめ」を参照。